

新年度予算及び組織改正等に関する説明について

1. 日 時：令和5年2月16日（木）17：30～18：30
2. 場 所：組合会館会議室
3. 出席者：
（市）経営企画課長、業務改革担当課長、職員担当係長
（組合）書記長
4. 議題：新年度予算及び組織改正等について
5. 発言内容：

（市） 平素より皆様方には、ご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。
本日は、交通局の新年度予算及び組織改正等について、説明させていただく。

新年度予算・組織改正等について別紙に基づいて説明

（組合） 自動車事業会計の特別減収対策企業債については、令和6年度から返済が始まると思うが、さらに借金が膨れ上がることで、数年たてば経営が立ち行かなくなるのではないかと心配している。

（市） そのために様々な経営改善策を進めていかなければならない。2タッチデータで利用状況が把握できるようになった。このデータを見て、ご利用状況に応じた持続可能な路線バス網の構築についても検討していかなければならない。

（組合） 現場職員は、特別減収対策企業債があつて何とか予算が組めていることが判っていない。企業債がなければ、純損益は倍になる、資金不足比率も20%を超える。そこをどのように現場職員に意識付けしていくのか。

（市） これまで予算や決算の時など、特別減収対策企業債の発行も含めて、適宜幹部職員へは情報共有をしてきたが、確かに現場の担当職員にまで理解が及んでいるとは言えないかもしれない。現場職員にも現在の厳しい状況を伝えていくよう努力したい。

（組合） クレジットカード決済については、組合としても他都市の導入例を視察したところである。QRコード決済については、飛行機の乗り場をイメージしていただくとわかりやすいが、反応が遅いことが多い。よく検証すべ

きである

- (市) QRコードの読み取り反応時間については認識している。まずは企画乗車券のようなものから始めることを検討しており、その状況などを見ていく必要がある。
- (組合) 海岸線の中学生以下無料化は、西神・山手線沿線では何故対象にならないのかといった声があると聞く。エコファミリー制度もそうだが、交通局の持ち出しである。以前から提案しているが、のびのびパスポートをIC化して統合し、神戸市の子育て施策として実施すればいいと考える。交通局としては半分でも負担をもらうべきだ。
- (市) 海岸線の中学生以下無料化は、市街地西部の活性化策であり、エコファミリー制度とは異なり一般会計から補填してもらっている。
- (組合) 一般会計からの支援を受けてベンチ・上屋を整備するのは良いが、その補修費は交通局が負担しなければならない。トイレの洋式化も過去に改修した際に何故すべてを洋式にしなかったのか疑問である。
- (組合) 北神線について今は委託業者が行っているが、車庫も含めて管理するとすると、技術系の職員の増員が必要になることは理解してほしい。
- (組合) 広告料収入は必要だが、金額を下げて広告を入れることも考えないといけないのではないか。今の時代、企業は、広告料はあまりかけられないと思う。柱巻きの広告枠について、乗車待ちのお客様に見てもらえるような導線が必要ではないか。阪急などでは、お客様が並ぶ列が示されており、そこからうまく広告が見えるようになっている。
- (市) いただいた意見も踏まえ、さまざまな視点から適切に対応していきたい。